

グループホームの増員と転居に寄せて

柏 素子

平成4年信愛で生活されていた4名の人が、新設されたグループホーム「メゾン森垣」で、普通の暮らしを夢に期待と不安を抱きながら、歩み出されて10年目を迎えました。

その間、利用者にとっても支援する側にとっても、様々な問題にぶつかりながら進んできました。

しかし、現在まで揃って生活を継続できていることは、大きな喜びであります。

そんな中で、平成6年に住んでいた家を突然出ることになり、以後施設敷地内で余儀なくされ、地域の中に戻る事が大きな課題となるも、住まいを確保することの難しさを痛感する日々でした。

ところが今回、理解ある家主さんや協力者に恵まれ、信愛育成苑の近くに素晴らしい住宅を借りることができ、12月になり待望の転居が実現しました。

この機会に増員を申請し、認められたことで新たに3名の方を迎え、新年より7名で出発。各個室に、それぞれ好みの家具をそろえ、初めて持つ自分だけの部屋に満足し、生き生きとした生活を始めておられます。

利用者全員、信愛での先輩、後輩の仲でトラブルもなく、和やかに過ごされひと安心しています。

今後、地域の中や職場で多くの知識を身につけ、成長されることを願いつつ、これからも余暇の過ごし方や地域・職場との調整など問題解決に支援は必要でしょう。

それでも、『森垣の住民になったんやで、何でも言ってきた。』と声をかけられ、素直に『住民になった』と喜んでおられる限り、きっと楽しく暮らしながら、多くのことを経験して、自立心を強くしていくことでしょう。

そして、信愛育成苑を利用されている人たちの目標になられることと信じて見守っていきます。



昨年を表現する一文字が「戦」になったと聞いた。

テロや戦争ということはもちろんであるが、自分を取り巻く環境の厳しさからこういった感覚が強くなったのではないだろうか。

坂道には、上り下りがある。上り坂は大変しんどいが、下り坂も足腰への負担は決して小さくない。むしろ、下りの方が転倒しやすいので、バランスを取ることが重要になる。

ところで、マイナスイオンが身体にいいと言われている。現代は、プラスイオンの影響を受ける環境が多くなり、体内のイオンバランスが崩れやすい。このことは、様々な失調の原因にもつながっていくとの話である。

マイナスイオンの多い水辺で遊ぶ機会を増やすとするか。

今年は、いろいろなバランスを凝視しながら、「笑」の一文字で進んでいきたい。（ものぐさ編集人より）

しんあいタイムズ

発行人 婦木俊明

知的障害者授産施設 信愛育成苑 〒620-0878 京都府福知山市堀360

0773-22-8694 FAX 0773-22-9150 E-mail sinai@mxn.nkansai.ne.jp

ホームページ <http://www5.nkansai.ne.jp/org/sinai2346/>



撮影 芦田和浩

新年にあたって

苑長 婦木俊明

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、健やかな新春をご家族お揃いで、お迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、新世紀の昨年は、アメリカの同時多発テロ・報復戦争、そして国内においては、狂牛病問題や益々悪化する景気の動向等社会的に不安定な状況で、先行き不透明感を拭えぬ幕開けとなり、心に重く残った年になりました。

一方、社会福祉界におきましても、2000年に改正された社会福祉法により、新たな第一歩を踏み出しました。

「措置から契約」「施設から在宅」へと平成15年に向けて、着々とその準備が進められているところであり、すでに苦情解決システム・サービス評価・情報公開等は、施設において取り組み、対応しているところがございます。

この1月には、いよいよ支援費制度施行に係る政省令(案)が提示され、具体的な施策が推進され、“理想と現実”のギャップと“理論と実践”の難しさが感じられる事態も起きてくることもあります。

このように慌ただしく変革される中ですが、私たち職員もこの波に乗り遅れないように従前の意識を改革し、提供するサービスの一層の充実を図っていく努力を致しますので、今年もご支援とご協力をお願い申し上げます。



新しい年を迎え、今年もよろしく
お願いいたします。 T・S

変革の中、私自身も今以上気を引き締め、
楽しく明るい環境作りに関心掛け、サービ
スにあたっていききたい。 S・K

人生節目の年。
健康に留意して生きたいと
思っています。 R・M

母一人、妻一人、子供男四人、女三人
(三匹?)。貧乏人の子沢山、イチロ
I目指して頑張ります。 M・F

今年、わたしの干支でもあるの
で、何事にも前向きに飛躍したい
と思っています。 N・N

『More For The HumanNetwork』 K・A

健康で穏やかな日々が、利用者の方と共に送れることを願っております。 S・S

2002 に一言

5年の歳月。
今年、利用者との心をみ分け出して、小さな喜びを大切に
して、一日一日を積み重ねていきたいと願っています。 I・T

作業中心で、経験の乏しい私にとっては、戸惑うこと
の多い毎日ですが、気負わず自然体でお付き合いをせ
ていただこうと思っています。今後ともよろしくお願
いします。 T・W

今年、色んなことに挑戦したいと思います。 T・N

信愛育成苑にお世話になり、半年がたちました。
今は、だいぶ慣れてきましたが、まだまだわから
ないこともあります。少しづつでも成長していけ
ればと思っています。 Y・K

「必要な時に、必要な人に、必要な援助を」を
モットーに小さな歩みではあっても、私の持つ
る力の範囲で精一杯歩んでいきたいと思いま
す。 M・K

パソコンもワープロも出来ないもので、いつも誰か
のお世話になっていきます。今年こそ、講習を受け
少しづつ練習をし、頑張りたいと思っています。 H・N

気は長く、心は丸く、腹立
てず、相手の立場を考え
て、プラス志向で前向きに
笑顔で接する気持ちを大
切にしていきたい。 C・Y

ダイエットをして、
5キロ体重
減らすぞ!! M・M